

2019年度の活動報告概要

1. 若者への投資の原資となる基金を軌道に乗せて、組織力を高める

達成度	評価	実績
80%	<p>△基金を立ち上げ、運営委員会を通じた給付実績を作ることができた。</p> <p>▼資金調達に力を入れ、原資の劇的な増加を図ることは出来なかった。</p>	<p>○給付実績</p> <ul style="list-style-type: none">・件数：検討9件、 給付6件(11名)・給付金額：17.2万円 <p>○基金原資の状況</p> <ul style="list-style-type: none">・累計基金額 1,005,362円 (事務局経費20%を差引いた分)・給付済 172,023円・残 額 833,339円

給付/検討実績一覧

No	対象/検討日	内容	給付判断
001	大学生6名	All GROWのサポートを受けた就活及び企画	協定団体枠ALLGROW
004	社会人1名	指導。	6,000円/年・人随時検討
002	社会人 Aさん	退職に伴う札幌への引越し代	緊急給付 5万円
		給与が出るまでのつなぎ資金	緊急給付2.2万円
003	社会人 Bさん	研修参加費用（検討のみ）	事前・事後のヒアリング等を条件に
005	社会人 Cさん	カウンセリング受診料（検討のみ）	一般給付 本人の希望に応じて
006	大学生 Dさん	団体年会費の補助（検討のみ）	学生会員新設につき給付の要なし
007	大学生 Eさん	「Art of Hosting 札幌2019 #Youth #SDGs」参加費の補助	Dさん 12,000円
	社会人 Fさん		Eさん 24,000円
	大学生 Gさん		Fさん 30,000円→職場支給に
008	高校生 Hさん	生活保護世帯につき、修学旅行や学用品の支援（検討のみ）	依頼内容に対する給付では生活保護費が削減される。今後も連携を密にする。緊急につき、社協等の制度のつなぎとして必要最低限の資金を給付。
009	社会人 Iさん	手持ちの現金が無く、水光熱等の支払い期限の迫るものを支援	<ul style="list-style-type: none"> ・食費/旅費 10,000円 ・光熱：14,023円

2019年度の活動報告概要

2. 若者と向き合い、声を聴き、社会とつなぐ

達成度	評価	実績
70%	<p>△フォーラム、ヒアリングを実施した。</p> <p>▼江別の大学生へのアンケート調査事業を行えなかった。</p>	<p>○Blue D-DAY2019開催</p> <ul style="list-style-type: none">・10/20(土) 40名参加・ユースチームが活躍 <p>○ヒアリング：6名</p>



Blue D-DAY2019

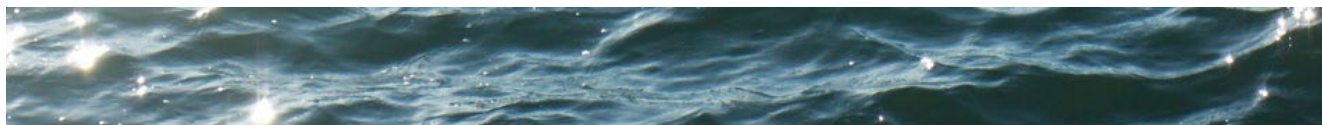


2019年度の活動報告概要

3. 情報発信力を高める

達成度	評価	実績
70%	<p>△情報発信媒体整備 ・WEBサイトの改修</p> <p>▼発信頻度を上げ、 フォロワー数の 増加につなげるに は至っていない。</p>	<p>○WEBサイトリニューアル</p> <ul style="list-style-type: none">・FacebookやTwitterとの連動が出来るようになる。・#を付けた効果的な投稿も実験中。・LINE公式アカウントは効果無し。

SNSの投稿内容



ホーム & NEWS みなと計画とは？ みなと基金 寄付/会員で応援 お問い合わせ ユース会員登録 みなと基金給付申請

投資は「若者」。リターンは「未来」。

あなたのお気持ちに合わせた若者への「投資」が、持続可能な「未来」につながります。

[寄付をする。](#) [会員になる。](#)

最新情報更新中です！

2019年度の活動報告概要

4. 共に歩む仲間を増やし、認定NPO法人の取得要件をクリア

達成度	評価	実績
<p>70%</p>	<p>△会員数の増の地盤整備</p> <ul style="list-style-type: none">・ sales forceを導入。・ 会員証を作成 <p>▼会員数増にはつながらず。</p> <p>△団体連携の進捗</p> <ul style="list-style-type: none">・ 北海道奨学金ネットワークへの加盟。・ カコタムとezorockとの三者協定に向けて進行中。・ コミュニティワーク研究実践センターと連携した講演会の実施	<p>○SFの活用</p> <ul style="list-style-type: none">・ WEBからのユース会員登録申請・ 基金給付もWEBから申請・ 会員情報の適切な管理が可能 <p>○寄付、年会費のオンライン決済が可能になる。</p> <p>○企業パートナー</p> <ul style="list-style-type: none">・ チエモク、パルコーポレーションに会員証作成を依頼・ 単なる委託ではなく、事業への共感を元にパートナーとしてのご賛同を得る。 <p>○連携講演会</p> <ul style="list-style-type: none">・ 8/13（火）12名参加・ 初の外部団体との連携講演会

目につく会員証



パスポートにもなる

初のコラボ講演会



2019年度の活動報告概要

5. チームが最大限の力を発揮できる体制作り

達成度	評価	実績
70%	<ul style="list-style-type: none">△事務局力の安定化<ul style="list-style-type: none">・外部委託で作業負担の軽減と品質向上が出来た。▼役員/会員との連携<ul style="list-style-type: none">・google for nonprofitの導入は出来たが活用できず。△ユース会員制度の導入<ul style="list-style-type: none">・大学生会員から、ユース会員に定款変更をした。	<ul style="list-style-type: none">○外部委託事業<ul style="list-style-type: none">・sales force導入サポート・BDDユースチームコーディネーター○ユースチームの構築<ul style="list-style-type: none">・BDDの企画運営を通して、みなと計画に関わるユースチームが出来た。・事業報告会で、新しい層のユースチームと交流を持てた。

BDDAYを軸としたユースチームの一年

キックオフ(1月) → 準備(2月～) → 本番(10月) → 振り返り(11月) → 報告会(12月)



キックオフ



事業報告会